

信州の自然環境と地域資源を積極的に活用する保育・幼児教育を県内全域に普及促進

全国初!

信州型自然保育認定制度

幼児期の豊かな体験が子どもの育ちを支える「人生の根っこ」となり、子どもの自己肯定感を高める

子どもの豊かな育ちと自然体験の重要性

★近年、日本の子どもの自己肯定感の低さや孤立感は増し、**長野県の子どもたちも例外ではない。**

★子どもの自己肯定感の向上には子どもの一人ひとりの**多様な特性や能力**に応じた「**出番と居場所**」が不可欠であり、幅広い体験活動（直接体験）が得られやすい**自然環境の中で、地域資源等**を活用した多様な育ちが可能となる**環境整備**が求められている。

自然体験は、子どもの体力増進、均整のとれた体格、主体性、自立心、好奇心、想像力、社会性、自己表現などの面における成長においても効果が期待されている。

信州らしさを保育に活かす

長野県には全国有数の豊かな自然環境、広大な県土、多様な地域性（村の数は日本一）、全国最多の「森のようちえん」に代表される野外保育団体の存在など、子どもの体験活動を普及促進するための多くのアドバンテージがある。

長野県らしさを活かしつつ、子どものバランスの良い成長を支え、自己肯定感の向上が期待できる「信州型自然保育」を提唱！

信州型自然保育とは

信州の豊かな自然環境や地域資源を意識的に活用した、屋外での多様な体験活動を基軸とする保育。

信州型自然保育認定制度とは

信州型自然保育に積極的に取り組んでいる団体の実践を県が定めた「認定基準」に基づき「認定審査委員会」が審査し、知事名の「認定証」を交付。

制度化のねらい

★**信州型自然保育の質を担保し社会的認知と信頼性を高める**ことにより、保育・幼児教育の多様性が尊重され、保護者や保育者が自然保育に取り組みやすい環境を整備する。

★既存の保育園や幼稚園を含む保育や子育てにかかわる多くの団体を通じて**信州型自然保育への理解**を全県に広め、各地で実践に取り組んでもらうための仕組みを創る。

★「信州型自然保育」を長野県らしい保育スタイルの一つとして普及させつつ、県内の認可園、認可外施設等の相互連携と学びあいを図り、県内外に**“子育て先進県ながの”**をアピールする。

長野県の多様な保育・幼児教育を県内外にアピールし、子育て世代の移住交流の促進につなげたい！



多様な自然環境の下では、子どもたちの「出番と居場所」が見つけやすい！



制度の4つの柱

- ①信州型自然保育の理念に基づいた実践を認定し、県が積極的にPR。
- ②「信州型自然保育ガイド」を作成し、多様な実践例や関連情報を発信。
- ③研修会等を開催し、団体間の交流や学びあいを促進。
- ④小学校との連携を大切にし、幼保小の連携を促進。

長野県の保育・幼児教育全体の質が向上し、安心して子どもたちが育つことができる環境整備を目指す！

2つの認定区分

運営形態や保育スタイルの違いに応じて2つの認定区分を設定

信州型自然保育(特化型)

自然体験活動に重点をおき、質・量ともに自然保育に特化した実践を対象とする。

信州型自然保育(普及型)

既存の保育・幼児教育のスタイルを基軸としつつ、自然保育にも意識的に取り組んでいる実践を幅広く対象とする。

認定団体のメリット

団体名および実践内容を、「信州型自然保育」のモデルとして、県が県内外に向けて積極的にPR。

保護者、自治体等のメリット

自然保育の実践が「見える化」され、保育・幼児教育の選択の幅が広がる。

認定基準と認定手続き

「団体運営の安定性」、「自然体験活動の計画性および環境と時間の確保」、「保育および自然体験活動の質の担保」、「屋外での体験活動における安全管理」、「地域連携」、「小学校との連携」、「個人情報保護」の各領域に関する26項目（普及型は23項目）の基準を全て満たすことで認定！

